

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2004-149024 (P2004-149024A)
 【公開日】平成 16 年 5 月 27 日 (2004.5.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-020
 【出願番号】特願 2002-317529 (P2002-317529)
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 0 R 11/02

H 0 4 N 5/64

【F I】

B 6 0 R 11/02 C

H 0 4 N 5/64 5 2 1 F

H 0 4 N 5/64 5 8 1 H

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 8 月 15 日 (2005.8.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】車載用画像表示装置及びその方法

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】
車内の電子機器からの出力された画像情報を表示する車載用画像表示装置において、
複数の電子機器からの画像情報を表示する表示手段と、
上記表示手段の表示視野角度を可変する表示角度可変手段と、
上記複数の電子機器からの画像情報を選択する画像情報選択手段と、
車両内の座席に着席しているか否かを検出する着席検出手段とを備える
 ことを特徴とする車載用画像表示装置。

【請求項 2】
上記画像情報選択手段によって選択された画像情報によって上記表示角度可変手段の角
度を可変する
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の車載用画像表示装置。

【請求項 3】
上記着席検出手段によって検出された座席の着席の状態によって上記表示方向可変手段
の角度を可変する
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の車載用画像表示装置。

【請求項 4】
上記表示手段の表示視野角度と上記座席の着席の状態を予め記憶する記憶手段を備える
ことを特徴とする請求項 1 に記載の車載用画像表示装置。

【請求項 5】
車内の電子機器からの出力された画像情報を表示する車載用画像表示方法において、

複数の電子機器からの画像情報を表示する表示ステップと、
上記表示ステップの表示視野角度を可変する表示角度可変ステップと、
上記複数の電子機器からの画像情報を選択する画像情報選択ステップと、
車両内の座席に着席しているか否かを検出する着席検出ステップとを備える
ことを特徴とする車載用画像表示方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、車載用画像表示装置及びその方法、特に、表示モニターと、該表示モニターに表示させる一又は複数の電子装置と、車両内の少なくとも一部の座席について着席か否かを検出する座席センサーを少なくとも備えた車載用画像表示装置及びその方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明は、車内の電子機器からの出力された画像情報を表示する場合において、複数の電子機器からの画像情報を表示し、表示手段の表示視野角度を可変し、複数の電子機器からの画像情報を選択し、車両内の座席に着席しているか否かを検出するようにしたものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

【発明の効果】

本発明によれば、車両内の各座席の着席か否かの各態様毎に予め上記表示モニターの視やすい向きが設定され、現在の各座席の着席か否かの態様を上記座席センサーにより検出し、その検出態様と対応するように上記表示モニターの視やすい向きを変化させるようにしてなるので、常に、表示モニターを現在の着席態様に最もふさわしい向きと設定された向きに自動的に視やすい向きにすることができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

また本発明によれば、制御手段が、座席センサから読み出した着席態様に対応する表示モニターの水平方向における向きを上記記憶手段から読み出し、その向きに表示モニターの向きがなるように表示モニター回動機構を制御するので、表示モニターの向きを現在の着席態様に最もふさわしい向きと設定された向きに自動的に制御することができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

また本発明によれば、着席態様のみならず、表示モニターにより表示されるメディアの種類に対応した表示モニターの向き、視やすい向きにすることができる。